

### III その他の方々の声

#### 【行田職員より】

・おじちゃんが亡くなってから、玄関には、おじちゃんの写真がかざられています。写真のまわりには、いつも四分一先生がユリの花をきれいにかざって下さり、畑でとれたお供え物がしてあります。行田の職員は、朝出勤すると、おじちゃんの写真に向かつて「おじちゃん、おはよう！」帰る時には「さようなら！また明日ね！」と声を掛けています。おじちゃんが入院してから、四分一先生の声掛けで、職員が毎日、交代でお見舞いに行くことを決めました。はじめは、起き上がって話をするのができたのに、日に日に調子が悪くなり、酸素マスクをして、口をあけたまま、ベッドに横になつておじちゃんがいきました。本当に悲しくて、涙が止まりませんでした。おじちゃんは、保育園のために、本当に色々な事をして下さいました。「おじちゃんはこのこととしてくれたよね」と次々と話が出てきます。私もおじちゃんがやってくるように、自分にできる事、人のためになることを考えて生活して行きたいです。

横藤愛香

・おじちゃんが亡くなってから今まで、何気なく生活していた中で「あ、これはおじちゃんがやってくれたな」「おじちゃんいないんだな」と感じる場面が多々あります。また、早番で赤ちゃんや小さい子を可愛げに抱っこしていた姿、病気で痩せてしまつても赤ちゃんを抱っこして嬉しそうに笑顔のおじちゃんの姿を今でも思い出します。子どもが好きだったおじちゃん、これからも見守っていて下さい。これからは、おじちゃんがない中、沢山の行事を迎えますが、おじちゃんが、やって下さった事を、みんな協力し合い、自分も頑張つて行きたいです。

山下滋子

・おじちゃんに研修の度に車に乗せて頂き、ジェットコースターのような、運転に楽しませてもらいました。思い出をいっぱいありがとうございます。

間竹陽子

・おじちゃんが亡くなってしまったのが、今でも信じられない気持ちです。おじちゃんの歩くスリッパの音が聞こえてきそうで、おじちゃんには「いい間、給食を手伝ってもらい、毎日、「美味しい？」と聞くと「うん、美味しいよ！」と言ってくれました。そんな何気ない会話も今では懐かしく思います。おじちゃん、今まで本当にありがとうございます！

伊藤智子

・神様のところにいつてしまったおじちゃん。姿かたちは見えませんが、おじちゃんの気配りは、ずっと感じる事が出来ますよ。おじちゃんはいつても、「わし、若いで」と笑顔で話していましたね。それから、「無理せんていい」と事あるごとに声を掛けてくれて、いっぱいになった胸がすつと楽になったこと、ずつと忘れません。子ども達も私達も言葉や文字で表わせないくらい、沢山の思い出を宝で頂きました。おじちゃん、おじちゃん、本当にありがとうございます。これからも私達を見守つて下さいね。

高橋とき子

・いつも星光のところの丸柱のところ座つてにこにこスタンバイ。入れ代わり立ち代りおじちゃんのお膝で充電して遊びだす星光組さん。おじちゃんのお膝はいつも満員でした。また、行事の時、卒園児一人ひとりに、「良く来たね、元気かい？」頭を撫でてにこにこ迎えてくれました。いつもにこにこのおじちゃんのお顔、いつまでも忘れません。おじちゃん、ありがとうございます。

持田光代

・おじちゃんとの思い出は沢山あつて時には・・・したけれど、沢山助けてもらったこと、心から本当に感謝しています。一番は一緒に保育したこと。おじちゃんが大好きな子ども達の安心の場所。みんなお膝に座つてにこにこ。着替えや授乳、給食のおかわり、片づけ、何でも出来ちゃうスーパー保育士でした。(笑) 自分の食事も後回しにしたり、「いいよいいよ、大丈夫」と、子ども達をトントン。いつも声を掛けてくれ、助けてもらい心が救われました。みんなが大好きなおじちゃんが、いつも傍で見守つてくれていると信じて頑張ります。

城山あずさ